

羽ばたけ通信 17号

編集・発行：
羽ばたけ鮎河自治振興会
事務所：鮎河地域市民センター内
TEL・FAX：0748-60-2721
E-mail：ayukawashinkoukai@nike.eonet.ne.jp

各部会 それぞれの活動を振り返って

羽ばたけ鮎河自治振興会では、今年度も様々な事業を行ってまいりました。今回の羽ばたけ通信では、実施した行事について、各部長による振り返りをお願いしました。

あんしん部会での 二年間を振り返って

「命を守る行動」

あんしん部会では、通行危険箇所の明示、消火栓器具や防災用器具の整備、地域防災訓練の実施などに取り組んできました。

この二年の間にも、国内では豪雨、豪雪、地震、台風などによって、近年稀に見る大規模な自然災害が発生し、多くの尊い命や財産が奪われました。人には、何らかの異常事態が起きたときでも「正常の範囲」と思い込んで、平静を保とうとする心の動きがあったり、過去の経験を過信して、どんな危機的状况でも『自分は大丈夫』と思いがちになるそうです。避難が遅れるのは、「人は、頭では『避難した方が



区長による「危険地マップ」の説明 - 西野集会所にて (平成30年8月26日実施)



よい』と書いていても、『自分は大丈夫だろう』と思い込みを勝手に作り上げ、自分で『安全』だということにしている」と言われています。広島県では西日本豪雨によって一〇〇名余りが犠牲になりました。避難勧告・避難指示が出されて、実際に避難した方は一パーセントに満たなかったそうです。

鮎河学区は、土砂災害などの危険がある地域です。台風の度に「避難勧告」の情報が流れますが、避難された方はほとんどおられません。こうしたことから、自治振興会では平成二十九年度・三十年度に二回の避難訓練を実施しました。避難所に集まるだけですが、二回目には危険地マップを皆で見てもらい、避難経路や身の

回りの危険を確認していただきました。

最近の災害は、これまでに経験したことがないような異常な豪雨によるものがほとんどです。「これまで大丈夫だった」が通用しない災害が発生しています。実際には、避難が空振りになることがほとんどだと思いますが、本当に避難が必要なきもありませんので、危険を過小評価せず「命を守る行動」として避難所に足を運んでいただきたいと思います。

あんしん部会

部会長 上野喜久治



「危険地マップ」を確認しながら、みんなで話し合い、情報共有 - 東野集落センターにて

(平成30年8月26日実施)

いきいき部会を 振り返って

いきいき部会は「心豊かな人が育ち、いきいきと暮らせる郷」を基本方針に活動してまいりました。昨年は、猛暑の中での学区ふれあい交流サロンで近江落語会を開催して、長生きの秘訣などの卓越した話芸に、参加された人達は、笑いで暑さも吹っ飛び、有意義な時間を過ごされました。



鮎河文月寄席 — 旧保育園にて
(平成30年7月15日実施)

学区敬老会には、多数の“人生の先輩方”が参加され、いろいろなアトラクションが催されました。お越しになった皆さんのいき



学区敬老会 — 旧小学校体育館にて
(平成30年9月23日実施)

きした笑顔は、今でも私の脳裏に浮かんできます。

そして、いきいき部会では初めての試みとして、昨年の十一月には多世代参加型の「学区民グランドゴルフ大会」を開催しました。六〇名を超える参加者でスタートし、途中には、「もぐもぐタイム」を設けるなどして、大いに盛り



人権巡回講座
・歌声喫茶 in 鮎河
— 旧保育園にて
(平成30年
11月18日実施)



グランドゴルフ大会 — 鮎河山村広場にて
(平成30年11月23日実施)



上がりました。初めてのことなので不安もありましたが、皆様に喜んでいただき、開催してよかったと思っています。

年間のいきいき部会の行事が、何事もなく無事終了できましたのは、携わってくださったスタッフ一人一人のご協力があったお陰です。この紙面をお借りして、お礼を申し上げます。

本当に、ありがとうございました。

いきいき部会

部会長 福村三代士



学区民映画会 - 旧鮎河小体育館にて
(平成30年9月8日実施)

きらめき部会を 振り返って

私は、何もわからないまま、
部長になり、皆さんにいろ
ろと教わりながら、一年、二年
とやってきました。

今年度は体調が悪かったこと
もあり、映画会など、できるだ
け、行事には出席してきました
が、里山ウォークについては参
加ができず、残念に思っていま
す。
そんな中で、一番の思い出にな



里山ウォーク - 北山林道にて
(平成30年11月25日実施)

ったのは、平成三十年十二月に行
われた、桜の苗木植えに参加でき
たことです。部会員の方たちとい
ろいろな話ができただけですが、何よ
りよかったことでした。

二年間やってきて、十分にでき
なかつたことが多くありますが、
次の役員の方に頑張ってもらって
いただければありがたいです。
支えてくださった部会員の皆さ
ま、ありがとうございます。

きらめき部会

部長 小倉勝次

旧鮎河小学校・旧鮎河保育園 の跡地活用について（その後）



鮎河地域づくりアドバイザーチーム会議
(平成30年9月18日実施)

旧鮎河小学校・旧鮎河保育園の跡地活用について
は、前回の羽ばたけ通信にて、小学校の活用について
の「ヒアリング型（サウンディング型）市場調査が行
われることまでお伝えしました。

その後、利活用について興味を示す民間事業者が数
社現れた段階で、自治振興会では「アドバイザーチ
ーム」による会議を行い、それぞれの事業者が提案する
内容についてのメリット・デメリット等について話し
合いました。

アドバイザーチーム会議で出た意見等については、
直後（9月28日）に行われた第2回の跡地活用検討協

議会にも反映され、議論を行ったのですが、この時点では、拙
速に事業者を決めず、再度、より幅広い事業者を対象に市場調
査を行うべきとの意見が多く委員に共通するものでした。

一方で、旧保育園の活用、特に具体的なレイアウトについて
は、12月20日に行われた第3回検討協議会で議論が行われ、
出てきた課題の整理が行われているところです。

そのような動きの中で、市では現在、「旧鮎河小学校利活用
提案の募集について」というタイトルで、再度、意見・提案の
募集をされています。

自治振興会としても、地域の思いを少しでも反映させたいと
考えておりますので、ご意見等に付きましては、検討協議会の
各委員にお寄せください。



第2回活用検討協議会
(平成30年9月28日実施)

自治振興会活動を 振り返って

私事、羽ばたけ鮎河自治振興会を平成二十七年から二期四年の長期に渡り、会長の重責をお預かりいたしました。元より、その器量も乏しく、凡愚の自らを省みもせず、務めさせていただいた次第です。その間、役員の皆様初め、諸先輩の皆様、また、学区民の皆さまの暖かいご支援とご協力をいただきましたことが、何よりの心の支えとなりました。本紙面をお借りいたしました。厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

自らの日々の暮らしの中で、自治振興会の活動や運営について、何時も頭から離れることはありませんでした。しかしながら、月日の経過は早く、「ご期待に答えられることは実現できたのだろうか」と思

い返してみますと、甚だ乏しく、誠に恥かしい限りであります。

さて、今の鮎河にとつての最大の地域課題は、学校等の跡地施設の有効活用の具現化にあると思います。少子高齢化社会に向き合うためには、この課題をしっかりと地元へのメリットとして取り組むべきだと痛感します。四年間、その目的で馳せてまいりました。機は熟し、今一歩のところまで来ているかと思っております。それを踏まえながら、振興会のテーマである、「みんなで支えてみんなでつくる鮎河の未来(あした)」を、認識も新たに、これからの振興会新役員の皆様、地域の皆様も、活動に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。私の反省と総括といたします。

長い間、お世話になりました。感謝とお礼を申し上げます。

羽ばたけ鮎河自治振興会

会長 水上 貢

鮎河地域市民センターから重要なお知らせ

平成31年4月1日(月)から住民票・印鑑証明等の
即日発行ができなくなります。ご注意ください。

(※翌日以降の発行が郵送対応に)

☆即日発行は、土山地域市民センターか、コンビニ(要マイナンバーカード)で可能です。

詳しくは鮎河地域市民センター(69)-0204

または、土山地域市民センター(66)-1101へ

うぐい川公園
・さくら並木周辺

咲くや鮎河さくらまつり 4/6

今年の開花予想は、昨年同様、早めようですが、今のところ(3月15日時点)、4月5日前後と予想されています。

鮎河に春の訪れを告げるうぐい川のさくら、多くのお客様をお待ちしています。

実行委員会では、駐車場係のボランティアを広く学区外の方も対象に募集しています。多くの皆様のご協力を、よろしくお願いいたします。



※写真は、2018年4月7日の

うぐい川の様子